第３章　計画の目標

第１節　将来の環境像

本市は、山と海に囲まれた豊かな自然環境が生活の身近に存在し、古くからの歴史や文化を感じられる生活環境を有しています。

この快適な環境を将来へ引き継いでいくためには、市民・事業者・行政が環境面での将来像を共有し、一体となって環境保全をめざした様々な取組みを行なっていくことが大切となることから、本計画における将来の環境像は次のように定めます。

環（わ）の心（こころ）で　自然（しぜん）と共生（きょうせい）するまち　うすき

”環の心”の部分には、臼杵の持つ豊かな自然”環”境を大切にする、循”環”型社会を目指すという意味だけでなく、”環”を「わ」と読むことで、市民・事業者・行政がみんなで手を携えて取り組んでいく（輪）という意味、臼杵に古くから残されてきた歴史的資源（和）を大切に守っていくという意味にもつながります。

また、人間は自然の中で生かされている認識を持ち、豊かな自然環境の保全と市民の快適な住環境整備とのバランスを取りながら持続可能な発展を目指すということから、”自然との共生”という言葉を使っています。

第２節　施策の目標

本市の目指す環境像を実現するため、計画の対象範囲とした４つの分類ごとに環境目標を定めました。

▼図表 3-1　環境目標

Ⅰ　生活環境

安全で快適なまち

良質な水・空気・土壌環境を維持し、有害物質などの心配のない安全で快適な生活環境が保たれたまちを目指します。

Ⅱ　自然環境

豊かな自然と共生するまち

豊かな自然環境の中で生活することの大切さを市民や事業者とともに考え、人と自然が共生できる生活環境を守り続けていきます。

Ⅲ　地球環境

地球にやさしく行動できるまち

地球環境問題に対し、市民・事業者・行政が協力・連携し、地球にやさしい取組みを推進します。

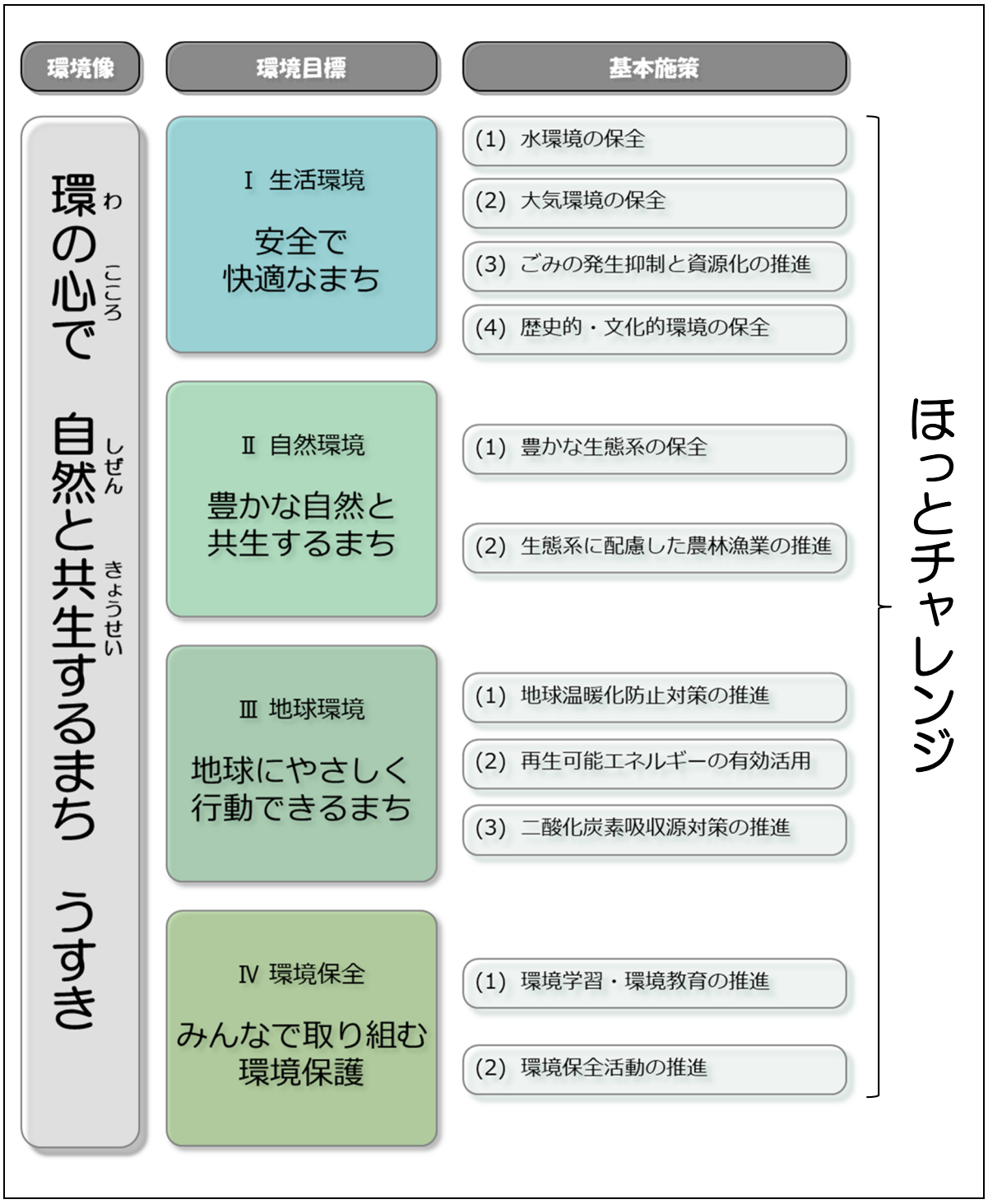
また、再生可能エネルギーの活用を推進すると同時に、二酸化炭素の吸収源である森林を適正に保全し、温室効果ガスの排出の削減を目指します。

Ⅳ　環境保全

みんなで取り組む環境保護

市民・事業者・行政が環境問題の重要性を認識し、理解を深めながらみんなで環境保全活動を推進するまちを目指します。

第３節　施策の体系

本計画の施策の体系を以下に示します。環境像の実現のための４つの環境目標と、その目標ごとに推進していく取組みとして基本施策があります。これらの取組みの総称を“ほっとチャレンジ”とし、これから市民・事業者・行政が一体となって取り組んでいきます。

▼図表 3-2　施策の体系